

# 同窓生の近況



## 佐々木 恵 輔

新日本製鐵株式会社

平成15年電気工学科卒  
平成17年電気・通信工学専攻修士了



平成17年に電気・通信工学専攻を修了し、社会人となって早3年となりました。在学中、電動機制御の研究に携わっていたこともあり「大きな電動機を思いのままに制御し、社会に貢献したい」という思いを持つなか、「圧延機が厚さ数 $\mu\text{m}$ の精度で鉄を延ばす制御」に魅せられ新日本製鐵に入社致しました。

入社後3ヶ月は名古屋製鐵所の薄板工場で3交代研修を行い、その後室蘭製鐵所に配属となりました。室蘭は北海道の太平洋側に位置する人口10万人ほどの小さな町です。それまで東北以外で生活したことが無く、慣れない土地での生活は不安もありましたが、すばらしい仲間・雄大な大地に囲まれ充実した生活を送っております。

室蘭製鐵所は自動車などのクランクシャフトや弁バネに用いられる特殊鋼棒鋼・線材の製造拠点です。製鐵所での業務は品質・生産量を管理する操業部門と、機械・電気・熱の技術者で構成される設備部門に大別されます。私はその中で設備部門の電気エンジニアリング業務に従事しております。製鐵所におけるエンジニアリングとは

生産設備の企画・設計から完成後のアフターケアまでの一連の作業を指します。製鐵業は「装置産業」という言葉に代表されるように、工場を構成する生産設備をいかに効率的に運用し、生産量を確保し、より良い製品を造っていくかが同業他社との競争に打ち勝つためのベースとなります。従ってエンジニアリング業務に非常に責任とやりがいを感じております。

入社して初めて担当した仕事はポンプ駆動用電動機の更新でした。電動機仕様の決定、電動機性能の比較、工事設計、試運転法案の作成、更新後の保護協調確認など、分からないことも多々あり、失敗もありましたが、何とかこなすことが出来たのは、在学中に指導頂いた電気の知識や新しい事に取り組む姿勢のおかげと感じます。

その後3年間で「発電機励磁装置の更新」、「特高ケーブル更新」、「線材高周波誘導加熱装置新設」、などの業務を担当しました。発電・送配電・電磁気学・制御と、担当する業務が増す度に、必要とされる基礎知識も増えるため、「基礎の習得とその応用」を常に意識し課題解決に取り組んでおります。現在は特高受電設備の新設計画を行っております。まだまだ分からないことばかりで、勉強とヒアリングに時間を費やす日々ですが、初心を忘れず業務に取り組み、製鐵をとおして社会に貢献したいと考えます。

最後になりましたが、同窓会皆様のみますますのご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

## 松 崎 和美智

株式会社仙台ニコン

平成16年電気・通信工学専攻修士了



平成16年3月に修士課程を修了し、仙台ニコンに入社して4年目になりました。生まれ育った東北で仕事をしたい、社会に貢献したいという思いから株式会社仙台ニコンに入社しました。振り返ってみると、あっという間に過ぎ去った気がします。時々、青葉山での学生生活を思い出します。厳しく、楽しく、的確なご指導を頂いた先生方、苦難と喜びを共にした研究室の皆さん。芋煮会、野球大会、駅伝大会など楽しかったイベントや夜遅くまで行った研究を思い出しては懐かしく感じています。研究生活を通して、物事に関する見方や考え方、解決策の導き方を学ぶことができ、自分の礎になってい

ると考えております。

在学中は機能的電気刺激（FES）の研究をしていましたが、入社後は一転して映像事業部でデジタルカメラ製作に従事し、新製品の量産試作から立ち上げを行う業務に携わってきました。高品質・低コスト・生産性向上・リードタイムの短縮を迫り、各専門技術のプロフェッショナルが集まり一つの製品開発を行うものづくりは、学生時代に一人で作業をすることが多かった私には大きな衝撃でした。不具合が発生した時には、原因解明に追われ、肉体的・精神的に大変な面もありますが、自分が少しでも携わった製品が市場に出た時はとても感慨深いものであり、非常にやりがいを感じたのを覚えております。

現在は基板のパターン設計業務に従事しております。製品の小型化、電子部品の高機能化により、高密度化・多層化・高速化が要求されるプリント配線板に対し、電氣的・機構的に優れたパターン設計を行わなければなりません。お客様である電気回路設計者や機械設計者、製品担当者と連携を密に取りながら業務を行い、迅速な対応を求められるハードな業務ではありますが、とてもや